作物の種類	カリフラワー	107(08012)	1次必須項目

項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	葉の着生角度	10株	観察				立	やや立	中	やや開	開			出らい(蕾)期に調査する
2	草姿高	10株	測定	cm（小数第1位を四捨五入）										出らい期に立毛の最高部までの高さを調査する
3	茎の長さ	10株	測定	cm（小数第1位を四捨五入）										出らい期に茎基部より花らい球までの長さを調査する
4	葉長	10株	測定	cm（小数第1位を四捨五入）										出らい期に最大葉で調査する
5	葉色	10株	観察				淡緑	やや淡緑	緑	やや濃緑	濃緑			出らい期に最大葉で判定する
6	花らい球の形状	10株	観察		扁平	扁丸	扁尖	平	丸	尖	腰高平	腰高丸	腰高尖	種苗特性分類調査報告書参照
7	花らい球包葉の程度	10株	観察				少	やや少	中	やや多	多			
8	花らい球の基本色	10球	観察		白	緑	紫							
9	花らい球の白の区分	10球	観察			白	白～乳白	乳白	乳白～黄白	黄白	黄白～淡黄	淡黄		日よけした場合で判定する
10	花らい球の紫の区分	10球	観察				淡紫	やや淡紫	紫	やや濃紫	濃紫			アントシアニン色素の濃淡で判定する
11	収穫期	10株	観察			超極早	極早	早	中早	中	晩	極晩		太平洋岸の一般平坦地の夏まき栽培を標準とする

作物の種類	カリフラワー	107(08012)	1次選択項目

項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	葉幅	10株	測定	cm（小数第1位を四捨五入）										出らい期の最大葉で調査する
2	葉縁の波打ち	10株	観察	無	極少	やや少	少	やや少	中	やや多	多			出らい期に最大葉で判定する
3	茎の太さ	10株	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										出らい期に茎の最太部分で調査する
4	側枝の多少	10株	測定	本（小数第1位を四捨五入）										収穫期に茎基部に発生する側枝数を調査する
5	総葉数	10株	測定	枚（小数第1位を四捨五入）										収穫期に調査する
6	葉形	10株	観察		線形	皮針形	倒皮針形	長卵形	倒長卵形	卵形	倒卵形	楕円形		収穫期に葉全体の輪郭として判定 種苗特性分類調査報告書参照
7	葉先の形	10株	観察				尖	やや尖	中	やや丸	丸			出らい期に最大葉で判定する
8	葉身の付着程度	10株	観察			A	A～B-1	B-1	B-1～B-2	B-2	B-2～C	C		出らい期に最大葉で判定する 種苗特性分類調査報告書参照
9	葉のわん曲	10株	観察				凹面	やや凹面	平面	やや凸面	凸面			出らい期に最大葉の中央横断面で判定する
10	葉のそり	10株	観察				弱	やや弱	中	やや強	強			出らい期に最大葉で判定する
11	葉縁の切れ込み	10株	観察	無	極少	より少	少	やや少	中	やや多	多			出らい期に最大葉で判定する
12	葉の色素	10株	観察	無	極淡	より淡	淡	やや淡	中	やや濃	濃			出らい期にアントシアニン色素の濃淡で判定する
13	ろう質	10株	観察	無			少	やや少	中	やや多	多			出らい期に葉表面で判定する
14	花らい球面の凹凸	10球	観察				少	やや少	中	やや多	多			収穫期に判定する
15	花らい球径	10球	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										茎中央の主花らいについて調査する
16	花らい球高	10球	測定	cm（小数第2位を四捨五入）										茎中央の主花らいについて調査する

作物の種類	カリフラワー	107(08012)	1次選択項目

項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
17	花らい球包葉の形	10株	観察		立葉	巻葉	包被葉							
18	花らい層の厚さ	10球	観察				薄い	やや薄い	中	やや厚い	厚い			最も厚い部分で判定する
19	花らい球のしまり	10球	観察				ゆるい	ややゆるい	中	ややかたい	かたい			
20	花らい球の渦巻形成	10球	観察				不鮮明	やや不鮮明	中	やや鮮明	鮮明			
21	花らい球茎の色	10球	観察		帯紫	帯紫～白	白	白～淡緑	淡緑	淡緑～緑	緑			
22	花らい球内茎断面の緑色度	10球	観察			極淡緑	より淡緑	淡緑	やや淡緑	中緑	やや緑	緑		

作物の種類	カリフラワー	107(08012)	2次必須項目

項目番号	項　目　名	調査数	方法	分　級　・　単　位										調　査　方　法　等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	ライシーの発生	20株	観察				少	やや少	中	やや多	多			
2	リーフィーの発生	20株	観察				少	やや少	中	やや多	多			
3	花芽分化温度	20株	観察			低	中低～低	中低	中	中高	中高～高	高		高:22°C前後,中高:17°C前後,中低:13°C前後,低:5°C前後 (目安としての最低平均気温)
4	萎黄病抵抗性	20株	観察				低	やや低	中	やや高	高			自然発病又は人工接種で判定する
5	黒腐病抵抗性	20株	観察				低	やや低	中	やや高	高			自然発病又は人工接種で判定する
6	根こぶ病抵抗性	20株	観察				低	やや低	中	やや高	高			自然発病又は人工接種で判定する

作物の種類	カリフラワー	107(08012)	２次選択項目

項目番号	項　目　名	調査数	方法	分　級　・　単　位										調　査　方　法　等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	ボトニングの発生	20株	観察				少	やや少	中	やや多	多			
2	耐寒性	20株	観察				低	やや低	中	やや高	高			冬季の葉の寒害(枯れ込みなど)で判定する
3	低温肥大性	20株	観察				低	やや低	中	やや高	高			秋冬期の花らい球発育程度で判定する
4	耐暑性	20株	観察				低	やや低	中	やや高	高			高温期の茎葉･花らいの発育を総合して判定する
5	耐湿性	20株	観察				低	やや低	中	やや高	高			多湿土壌条件におかれた際の株の弱り具合で判定する
6	耐乾性	20株	観察				低	やや低	中	やや高	高			乾燥土壌条件におかれた際の株の弱り具合で判定する
7	秋まき性	20株	観察	無									有	太平洋岸の一般平坦地の10～11月まき栽培を指す
8	春まき性	20株	観察	無									有	太平洋岸の一般平坦地の1～3月まき栽培を指す
9	Ｂo欠乏症	30株	観察				出易い	やや出易い	中	やや出難い	出難い			自然発生程度で判定する
10	Ｃa欠乏症	30株	観察				出易い	やや出易い	中	やや出難い	出難い			自然発生程度で判定する
11	Mo欠乏症	30株	観察				出易い	やや出易い	中	やや出難い	出難い			自然発生程度で判定する
12	べと病抵抗性	30株	観察				低	やや低	中	やや高	高			自然発生程度で判定する
13	黄化病抵抗性	30株	観察				低	やや低	中	やや高	高			自然発生程度で判定する
14	コナガ抵抗性	30株	観察				低	やや低	中	やや高	高			自然発生程度で判定する

作物の種類	カリフラワー	107(08012)	3次必須項目

項目番号	項　目　名	調査数	方法	分　級　・　単　位										調　査　方　法　等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	花らい球重	10球	測定	g（小数第1位を四捨五入）										収穫適期の一花らい球の重さを測定する

作物の種類	カリフラワー	107(08012)	3次選択項目

項目番号	項　目　名	調査数	方法	分　級　・　単　位										調　査　方　法　等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	品質	10球	観察				劣	やや劣	中	やや優	優			花らい球の色、形、肉の厚さ、緊りなどを総合して判定する